

令和 3 年度
事業概要
Business Overview

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER



日本赤十字社

愛知県赤十字血液センター



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

ごあいさつ



愛知県の血液事業につきましては、平素より県民の皆様をはじめ、愛知県、市町村、各献血協力団体および医療機関等の関係各位のご支援とご協力に対して厚く御礼申し上げます。この度、令和3年度の愛知県赤十字血液センターの事業概要を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

令和3年度の献血につきましては、愛知県内では延べ292,732人の方々にご協力をいただきました。新型コロナウイルスの感染拡大により、都市部企業におけるテレワーク普及と学域でのオンライン授業推進により、従来のような集団献血の実施が困難となる中、人と人との接触を極力回避しながら「新しい生活様式」に対応した献血推進を行ってまいりました。その結果、県民の皆様をはじめ多くの方々から献血へのご理解とご協力をいただき、輸血用血液製剤を安定して患者さんへお届けすることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

輸血用血液製剤の供給量については、全国動向が漸減傾向にある一方、愛知県赤十字血液センターでは微増傾向にあり、医療機関への総供給単位数904,689単位と令和2年度と比較して9,105単位の増加となりました。

また、血液を原料として製造されるアルブミン、免疫グロブリンなどの血漿分画製剤のうち、免疫グロブリン製剤の需要が高まり、原料となる血漿の必要量は、直近の5年で95.0万Lから122.3万Lへと約1.3倍増加しました。このような背景を踏まえ、令和3年10月27日、愛知県内初となる血漿採血専用献血ルーム「献血ルーム フォレスト」を名古屋市内に新設し、必要血液量の更なる安定的、効率的、計画的な確保を目指しております。

今後、少子高齢化社会による献血可能人口の減少は確実と予測され、特に若年層の方々の献血へのご理解とご協力が不可欠となります。今後も安全な血液製剤を安定して患者さんへお届けするために、各献血協力団体などとともに献血の普及啓発活動に積極的に取り組んでまいります。特に将来の献血を担っていただける若い世代の方々に、献血への関心と理解を深めていただけるよう、小・中・高校生を対象とした血液センターの見学会やオンライン献血セミナーの実施、親子血液教室の開催など献血啓発活動をより推進し、若年層献血者の増加に努めてまいります。

愛知県赤十字血液センターでは、これからも安心安全な献血会場を運営して献血を推進するとともに、安全な血液を安定的に患者さんへお届けするように努めていく所存です。今後も皆様方より一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年9月

愛知県赤十字血液センター
所長 木下 朝 博



1	概 要	Outline
2	事業内容	Main Activities
3	血液事業のながれ	Flow of Blood Services
4	血液のゆくえ	Flow of Blood Products
5	血液センターの業務	Blood Center Operations
6	献血ルーム フォレスト	Blood Donation Room Forest
8	施設	Facilities
	採血	Blood Collection
10	看護師の職場紹介	Nurse's Workplace Introduction
11	看護師の仕事内容	Work Contents of the Nurse
12	現役看護師に聞いてみた働き方	
	供給	Distribution
14	供給業務	Distribution Operations
14	広域需給体制に伴う県境を越える供給	Wide-area Supply and Demand Regime
15	令和3年度 供給実績	Supply Results
16	令和3年度 医薬情報活動	Medical Information
17	骨髄バンク事業	Bone - Marrow Donor Registry
18	広報トピックス	Public Relations
20	複数回献血クラブ「ラブラッド」	Multiple Blood Donation Club
2	コロナ禍における対応	COVID-19
21		
3	組 織	Organization
22	組織機構図	Organization Chart
23	愛知県赤十字血液センター	Japanese Red Cross Aichi Blood Center
23	愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所	Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch
4	活動実績	Actual Result
24	沿革	History
28	献血功労表彰	Recognition
5	統計資料	Statistical Data
30	献血種別の推移	Blood Donation Type of Transition
30	性別及び年代別	Transition by Age
31	献血種別献血者数	Blood Donation Type Number of Blood Donors
31	年代別献血者数	Donations by Age Group
32	献血ルーム&献血バス・オープン献血の割合	Blood Donation Room & Bloodmobile Open Blood Donation Percentage
32	施設別採血種別献血者数の推移	Changes in the Number of Blood Donors by Site
33	献血ルーム別献血者数	Number of Blood Donors by Blood Donation Rooms
34	献血ルーム別年代別献血者数	Number of Blood Donors by Age
35	供給状況	Number of Distribution of Blood Products

1 概要

Outline

日本赤十字社が取り組む血液事業において、献血を推進し、輸血用血液の安定確保と供給などを行い、人命尊重に向けて多様な事業を展開しています。

血液を通して、人と人とを結んでいます

血液センターでは、現代医療に欠かせない輸血用血液製剤の供給をはじめ、血液に関するさまざまな事業を行っています。
血液を通して大切な命を守り、人と人とを結ぶ架け橋として日夜努めています。

事業内容 Main Activities

目的と基本理念 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（抜粋）（令和2年9月1日改正）

- 総則（目的） 第一条 この法律は、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために必要な措置を講ずるとともに、人の血液の利用の適正及び献血者等の保護を図るために必要な規制を行うことにより、国民の保健衛生の向上に資することを目的とする。
- （基本理念） 第三条 血液製剤は、その原料である血液の特性にかんがみ、その安全性の向上に常に配慮して、製造され、供給され、又は使用されなければならない。
- 血液製剤は、国内自給（国内で使用される血液製剤が原則として国内で行われる献血により得られた血液を原料として製造されることをいう。以下に同じ。）が、確保されることを基本とするとともに、安定的に供給されるようにしなければならない。
 - 血液製剤は、献血により得られる血液を原料とする貴重なものであること、及びその原料である血液の特性にかんがみ、適正に使用されなければならない。
 - 国、地方公共団体その他の関係者は、この法律に基づく施策の策定及び実施に当たっては、公正の確保及び透明性の向上が図られるよう努めなければならない。

業務

- ・献血者の確保及び献血の受入れ
- ・血液製剤の供給

関連事業

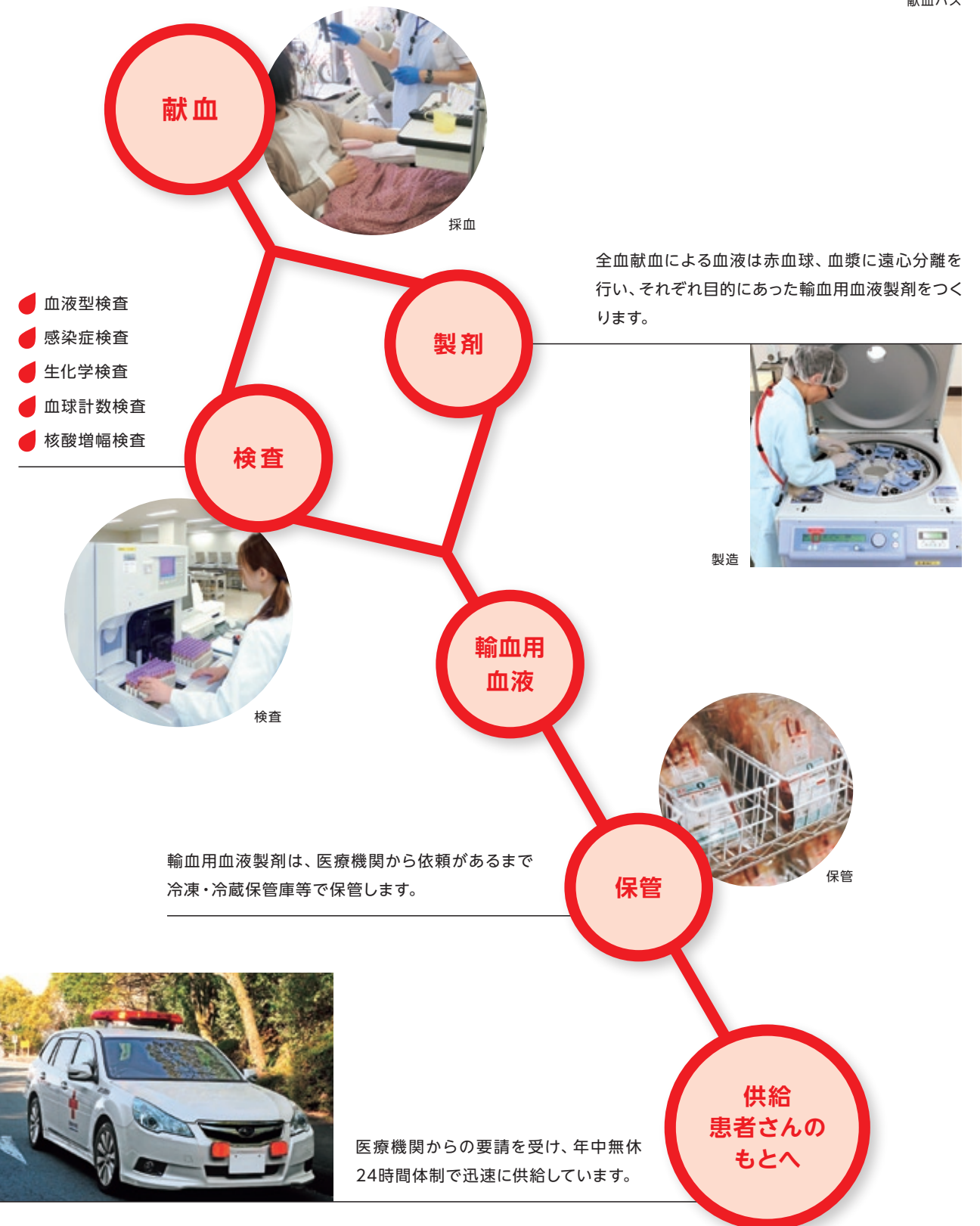
- ・骨髄バンク事業
- ・さい帯血バンク事業

血液事業のながれ Flow of Blood Services

献血いただいた血液は、血液を必要とする患者さんが安心して輸血を受けられるよう安全性確保のための検査を行った後、いくつかの工程を経て、輸血用血液製剤として生まれ変わります。
私たちは安全性の高い輸血用血液製剤を医療機関に安定供給するために、24時間体制で医療を支えています。



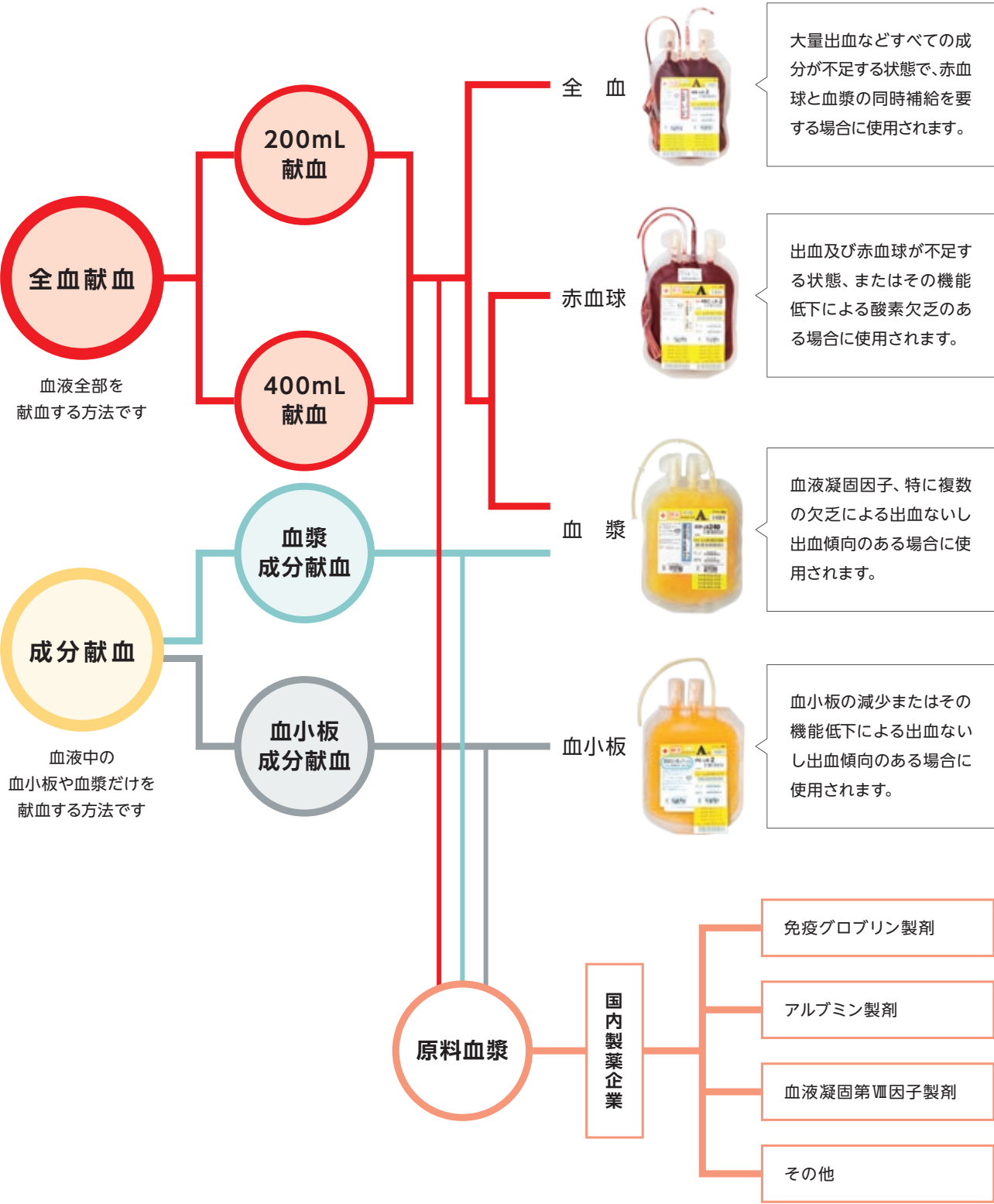
献血バス



みなさまの善意に、よりお応えするために

献血していただいた血液は、輸血用血液製剤として医療に使われています。
血液を必要としている患者さんにとって、安全性の高い血液を安定的にお届けするためには、
健康なみなさまによる献血のご協力が必要です。

血液のゆくえ Flow of Blood Products



血液センターの業務 Blood Center Operations

愛知県内の様々な場所で献血バスを通じて、多くの方々に献血のお願いをしています。
また、駅周辺や商店街など、交通の便のよい場所に献血ルームを設け、献血いただく方が
快適で安心して献血ができる環境を整えています。

献血バス Bloodmobile

献血バスは愛知県赤十字血液センター（瀬戸市）と豊橋事業所（豊橋市）に配置した献血バスを職場や地域の献血会場へ配車しています。また、献血にご協力いただいている団体の一部施設を利用して行う、オープン献血も実施しています。献血バス1台に4ベッドありますが、オープン献血の場合は会場のスペースによって4～16ベッド設置して採血をします。



献血バス



オープン献血

献血ルーム Blood Donation Room

血液センターをはじめ豊橋事業所並びに県内7か所に献血ルームがあります。



受付（献血ルーム タワーズ 20）



問診室（献血ルーム フォレスト）



採血室（献血ルーム ゲートタワー 26）

献血ルーム フォレスト

令和3年10月27日、成分献血を中心とした予約専用ルーム「献血ルーム フォレスト」がオープンしました。

近年、血漿分画製剤の一つで免疫グロブリン製剤の需要が増加傾向にあり、その原料となる血漿献血を確保する為、愛知県内初となる「成分献血」を中心とした予約専用の「献血ルーム フォレスト」が誕生しました。

献血ルーム フォレストが入る大型商業施設は都心部にありながら、緑豊かな周辺環境にあり、公共交通機関・自家用車でのアクセスも抜群です。

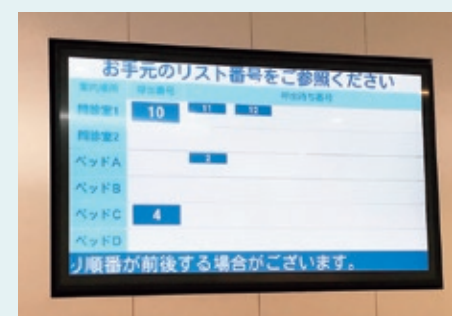


「清潔感」「開放感」「安全性」を重視した 快適で親しみやすい献血ルームです

ゆとりある待合スペースで、ソファでゆったりとお過ごしいただけます。
待合には高さ2m×幅3.5mの160インチ大型デジタルサイネージがあり、
四季折々の迫力ある映像を見ることができます。



待合スペース



ご案内システム



エアクリナー

ご案内システムによる人との接触
機会の低減や、光触媒のエアクリ
ナーをルーム内各所に配置するな
ど、感染対策を講じています。

献血ルーム フォレスト

〒451-0051 名古屋市西区則武新町三丁目1番17号 イオンモール Nagoya Noritake Garden 3階

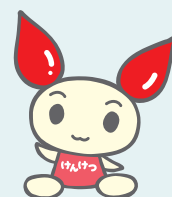
〔献血受付時間〕 成分献血 10:00～17:00

〔定休日〕 12月29日～1月3日

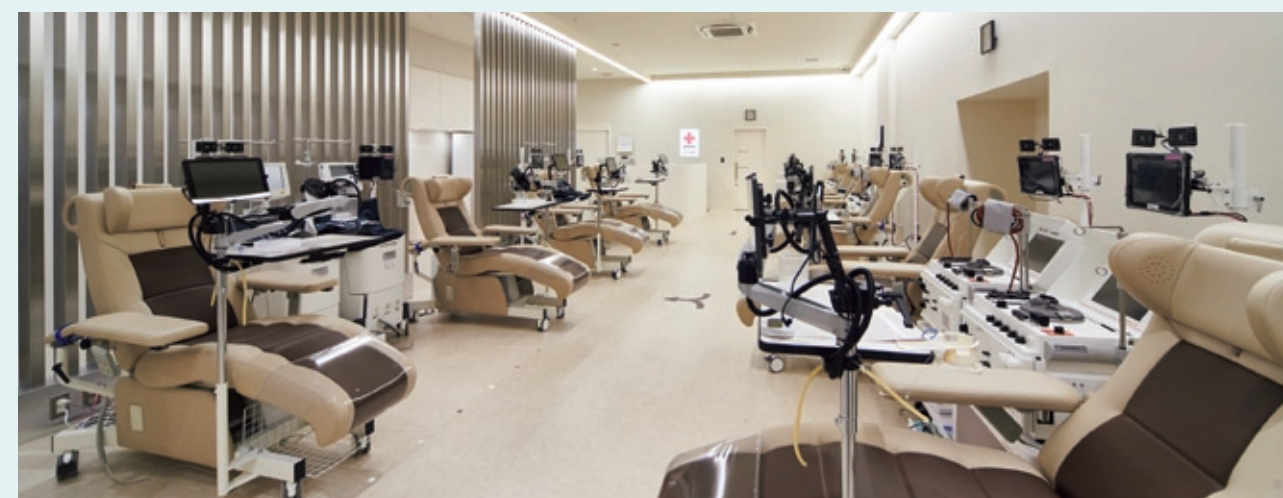
〔アクセス〕 地下鉄東山線「亀島駅」より徒歩約6分
名鉄名古屋本線「栄生駅」より徒歩約10分
JR「名古屋駅」より徒歩約12分

〔駐車場〕 イオンモール Nagoya Noritake Garden お客様駐車場

〔電話番号〕 052-462-8090



ベッド数：10床
面積：407.14㎡
開設日：R3.10

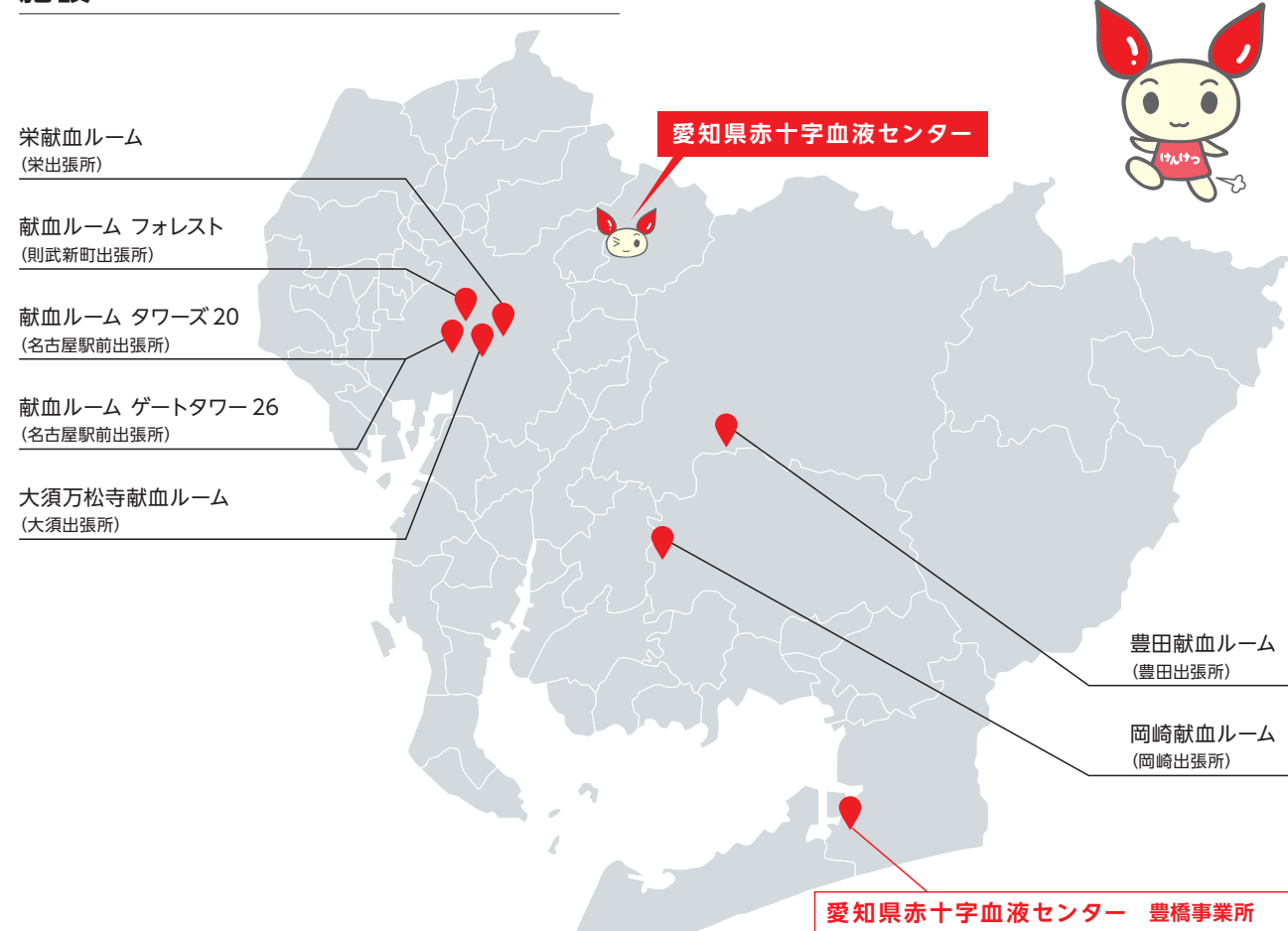


献血はお近くの施設でお気軽に

愛知県内の献血施設 9 か所は、どの施設も交通アクセス、周辺環境に恵まれています。

献血はあなたの街の最寄りの施設へお気軽にお越しください。最新の情報は、ホームページでご確認ください。

施設 Facilities (令和 4 年 3 月 31 日現在)



愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 瀬戸市南山口町539番地3
TEL 0561-84-1131

[定休日]
日曜日、祝日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
9:00~12:00 / 13:00~16:45
成分献血
9:00~11:00 / 13:00~16:00



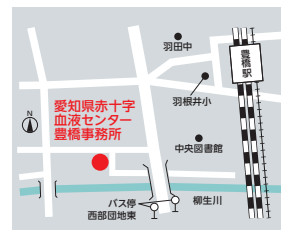
ベッド数：6床
開設日：S62.3

愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

〒441-8083 豊橋市東脇三丁目4番地1
TEL 0532-32-1331

[定休日]
日曜日、祝日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
9:00~12:00 / 13:00~16:45
成分献血
9:00~11:00 / 13:00~16:00



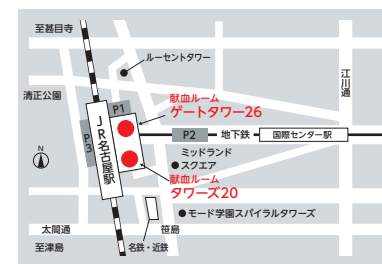
ベッド数：9床
開設日：H2.3

献血ルーム タワーズ20

〒450-6020 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号
JRセントラルタワーズ20階
TEL 052-571-1002

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~17:45
成分献血
10:00~17:00



ベッド数：28床 面積：951.84㎡
開設日：H23.10



献血ルーム ゲートタワー26

〒450-6626 名古屋市中村区名駅一丁目1番3号
JRゲートタワー26階
TEL 052-589-2229

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
11:00~18:45
成分献血
11:00~18:00



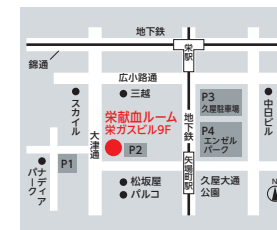
ベッド数：18床 面積：525.72㎡
開設日：H29.4

栄献血ルーム

〒460-0008 名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル9F
TEL 052-242-7030

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~17:45
成分献血
10:00~17:00



ベッド数：18床
面積：447㎡
開設日：H2.6

大須万松寺献血ルーム

〒460-0011 名古屋市中区大須3-30-40 万松寺ビル1F
TEL 052-251-7161

[定休日] 12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
11:00~13:00 / 14:00~18:45
(土・日・祝日) 11:00~18:45
成分献血 (平日のみ)
11:00~12:00 / 14:00~18:00



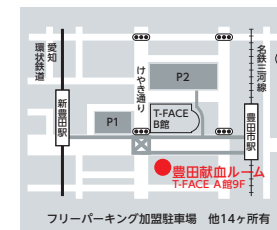
ベッド数：5床
面積：179.76㎡
開設日：H18.10

豊田献血ルーム

〒471-0026 豊田市若宮町1-57-1 T-FACE A館9F
TEL 0565-35-4480

[定休日]
火曜日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~13:00 / 14:00~17:45
成分献血
10:00~12:00 / 14:00~17:00



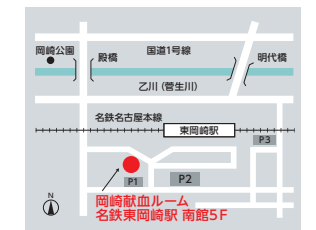
ベッド数：10床
面積：246.095㎡
開設日：H9.4

岡崎献血ルーム

〒444-0864 岡崎市明大寺町寺東1-1 名鉄東岡崎駅南館5F
TEL 0564-52-1800

[定休日]
金曜日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~13:00 / 14:00~17:45
成分献血
10:00~12:00 / 14:00~17:00



ベッド数：9床
面積：263.56㎡
開設日：H15.5

採 血

Blood Collection

輸血用血液の確保は、血液センターが担っており、中でも採血に携わる看護師は欠かすことができない存在です。血液事業における看護師は、病気やけがの治療のため輸血や血液製剤を必要とする人たちのため、健康な方々から安全に血液を採取し、提供していただいた血液の品質を確保するという重要な役割を担っています。多くの方々と短い時間ではありますが、採血を通してふれ合い、人の「優しさ」や「温かさ」を感じることができます。血液センターでは、看護の基礎的知識から専門的知識、技術を高めるため教育訓練の充実を図り、仕事にやりがいを持ち、楽しみながら働き続けられる職場作りを目指しています。

看護師の職場紹介 Nurse's Workplace Introduction

献血は主に献血ルームと献血バスで受け付けています。

献血バス

瀬戸市と豊橋市を拠点に、毎日6～8台の献血バスが愛知県内の事業所や学校、ショッピングモールなど様々な場所へ出向き、採血を行っています。献血に必要な器材を車内に搭載し、検診医師、看護師、受付職員とチームを組んで業務します。



献血ルーム

愛知県内9か所にある献血ルームでは、主に成分献血にご協力いただく献血者を受け入れています。都市部を中心に主要駅に近い場所にありながら、穏やかで落ち着いた空間を求めて、多くの献血者が訪れます。



看護師の仕事内容 Work Contents of the Nurse

看護師の業務内容は「採血前検査」、「採血」、「搬送」「資材管理」などが主となります。

1 採血前検査

献血者の健康状態、血液データを確認し献血が可能か判断します。



本採血前の事前検査で少量の血液を採取します。



採取した血液を機械にセットし、データを確認します。

2 採血

機械に回路のセットをします。献血者に穿刺をし輸血用血液の採血をします。また、献血に際しての注意事項などを話します。



本採血の穿刺の様子



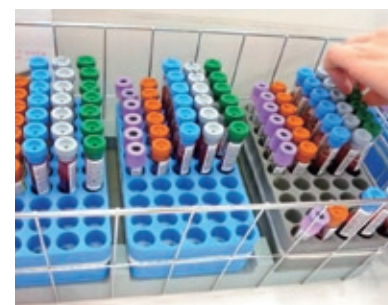
成分献血の機械



全血献血の機械

3 搬送

採血後、血液を適切な温度で管理し、製造部門へ引き継ぎます。



検体にはラベルを貼り、献血者ごとに管理します。1日数便に分けて検査部門に送ります。



献血いただいた血液は、適切な温度で保管するため、搬送用バッグに梱包し、1日数便に分けて製造部門に送ります。

4 資材管理

その他、使用する資材の受け入れ試験、保管管理等も行います。



どう働いて
いるの?

現役看護師に 聞いてみた働き方



献血ルーム勤務
若手看護師

Aさん



献血時に見た採血業務セミナーのポスターに興味を持ち、セミナーに参加しました。業務内容はもちろん、給与や残業についても資料を使ってお話してくれ、また職員の雰囲気がとても明るいと感じたため、その後施設見学も希望しました。施設見学では、希望する施設での勤務体制を見せていただいたり、気になっていた「早出や残業」等の具体的な内容を教えてもらうことができ、ほとんど不安なく面接を申し込むことができました。就職して最初の頃は覚える事が山ほどあって、とてもつらい時期もありましたが、先輩たちが根気よく教え続けてくれ、とても感謝しています。移動バス業務は朝が早く大変なこともあります。多くの採血をこなすための工夫や、ドナーさんが安全安楽に過ごせるための努力をすることが日々の勉強につながり、とても充実した毎日を送っています。

献血ルーム勤務
若手看護師

Bさん



夜勤がないので家事と仕事の両立ができ、プライベートが充実しました。穿刺に不安があるときは先輩看護師に相談できます。ブランクがあり復職可能か心配でしたが丁寧に指導してもらえました。

献血ルーム勤務
男性看護師

Cさん



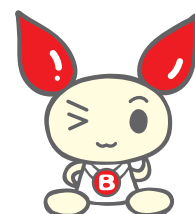
業務の中で男性目線の考えや取り組みを行っています。採血業務は奥が深いので、技術を極めたい方や探究心のある方にお勧めです。サポートもしっかりしていますので、安心できると思います。年に一度の学会発表もあり、勉強好きな方も力を発揮できます。



日勤のみの
ローテーション勤務です！
夜勤がありません



- 夜勤や遅番などが無く時間変動が無いので、身体が楽になりました。夜勤が無いのは本当に大きく心に余裕ができました。
- 病棟やクリニックと比べ残業時間が少なく、プライベートな時間が充実しています。



子育て世代も
頑張っています！

(出勤時間は施設により異なります)



- 身体が楽になり家事への支障が少なくて、出勤時間が遅いので朝に家事もできます。子供を学校に見送ってからの出勤が可能です。
- 子供の学校行事があるときは希望を出して休みをもらい、学校の役員もしました。

患者さんではなく
献血者との
関わりです



- 対象が健康な方で、幅広い年齢層の方と接することができるため、学ぶことも多く楽しいです。
- 患者さんではないので「ありがとうございます」と言えることが嬉しいです。
- 穿刺メインではありますが、そのほかの仕事や献血者との会話・ケア等で10年間飽きることなく毎日楽しく仕事できています。
- 病院での処置や仕事が自分に向いていないと思った人も、仕事内容が全く異なるので心配ないです。

穿刺技術は
向上します

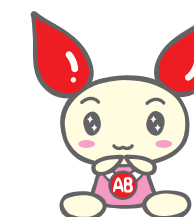


- 血液センターの前は別の施設にいて、採血の機会はあまりありませんでした。採血は得意ではなかったのですが毎日の採血でコツをつかめ、採血について前向きになりました。数をこなせば経験を増やせば心配ないですよ。
- 献血用の注射針に、最初は戸惑うこともありますが、先輩方がやさしく指導してくれるので安心して採血できます。

新人教育は
採血マニュアルに準じて
指導しています



- 教育担当の先輩がついてくれるので、何でも聞きやすいです。業務を丁寧にサポートしてもらえました。
- 採血業務はマニュアルが整っているので、統一した手順で分かりやすいです。仕事を覚えてしまえば気持ちに余裕ができます。



患者様と献血者の方々の
架け橋になり仕事に
誇りを持っています。



- 血液センターの仕事は輸血用血液製剤の原料となる採血業務です。病院で患者さんが輸血用として使用されていることを思うと「社会貢献ができている」と感じ、やりがいがあります。日々の献血者の方との会話も楽しいですよ。
- 献血業務ができるのは血液センターだけです。輸血によって多くの命が救われています。その一端を担っている誇りと責任を持って仕事をしています。

供給

Distribution

輸血用血液製剤の安定的な供給に努めています

供給業務

Distribution Operations

愛知県赤十字血液センター及び豊橋事業所の2供給施設において、輸血用血液製剤を製剤毎に定められた温度や方法にて適切に保管・管理し、医療機関からの要請に対して365日24時間体制で輸血用血液製剤を供給しています。



①

受注業務

24時間体制で医療機関から受注をしています。FAX、電話の他、WEB発注システムによる受注も行っています。



②

出庫業務・外観確認

血液製剤に異常がないか最終チェックをします。



③

梱包作業

納品伝票と血液製剤の製造番号などの確認と血液製剤ごとの製品温度に適した状態で梱包します。



④

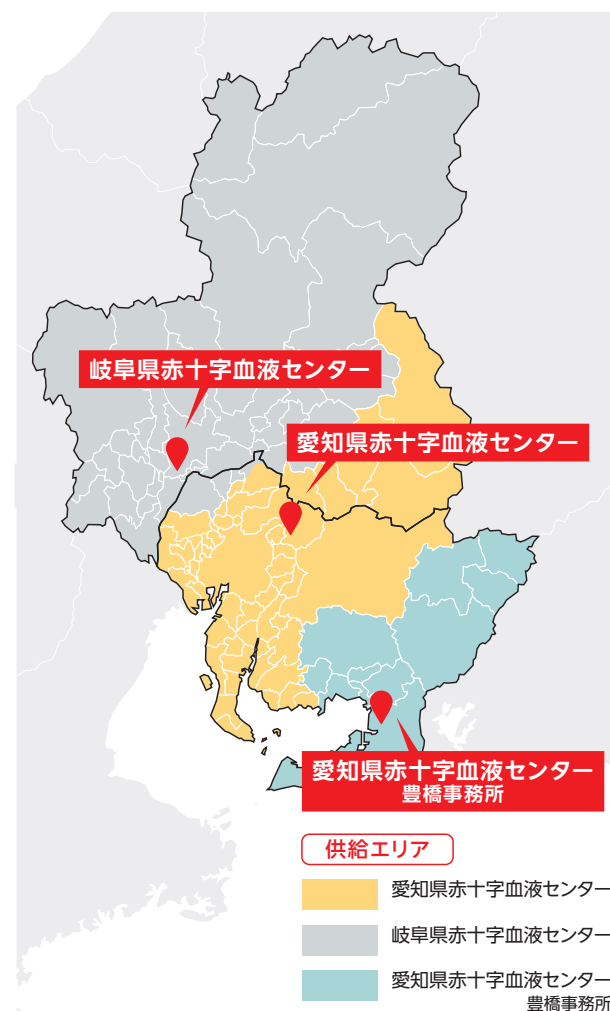
搬送

愛知県下で輸血を行う医療機関は約350機関。医療機関から「緊急」の要請があれば緊急走行で運びます。

広域需給体制に伴う県境を越える供給

Wide-area Supply and Demand Regime

平成24年4月1日より広域事業運営へ移行し、東海北陸ブロック血液センターが設置されました。それに伴い、供給エリア設定の検討調査を行い、平成25年4月1日より西尾張地域の一部（一宮市・江南市・扶桑町・犬山市北部）を岐阜県赤十字血液センターから、東濃地域（多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市・中津川市）を愛知県赤十字血液センターから、供給を行うことに変更しました。これにより、対象地域の医療機関への血液製剤配送時間の短縮が可能となりました。

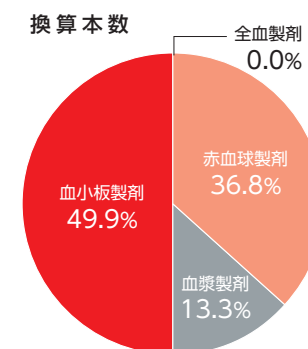
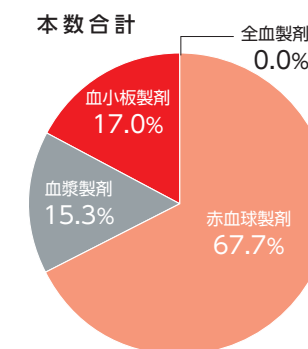


令和3年度 供給実績 Supply Results

愛知県内の供給実績

	本数合計	換算本数 [単位: 200mL換算]
全血製剤	0	0
赤血球製剤	178,032	348,866
血漿製剤	40,296	126,582
血小板製剤	44,597	473,027
合計	262,925	948,475

(単位: 本)

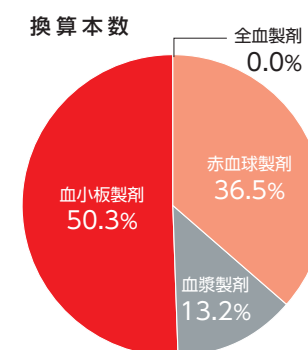
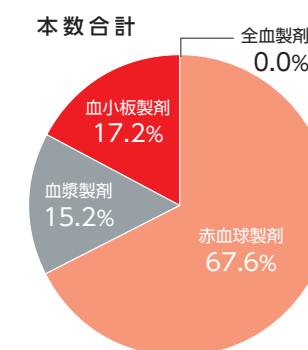


愛知県赤十字血液センターからの供給実績

	本数合計	換算本数 [単位: 200mL換算]
全血製剤	0	0
赤血球製剤	168,102	329,800
血漿製剤	37,790	119,462
血小板製剤	42,674	455,427
合計	248,566	904,689

(単位: 本)

- 単位換算数: 赤血球製剤は200mL献血由来を1単位、40mL献血由来を2単位として換算したもの。
- 血漿製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位、成分献血由来を4単位として換算したもの。
- 血小板製剤は規格により、1単位、2単位、5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。



新たな血液製剤発注システムについて

従来の血液製剤発注方法である電話・FAXに代わる新たな方法としてインターネットで受発注する血液製剤発注システム（WEB発注システム）の導入を推進してきました。令和2年11月のシステム刷新後、医療機関にはWEB発注システムへの切り替えをお願いしています。

導入のメリット

★受発注時の過誤防止

電話での聞き間違いや、手書きや手入力による過誤などの防止に役立ちます。

★操作が4STEPで簡単

製剤選択⇒備考・抗原情報入力⇒納品日時・お届け先入力⇒発注確定

★8明細まとめて発注

赤血球、血漿、血小板など異なる製剤でも、抗原や備考入力も可能。

★発注情報等のシステム管理が可能

医療機関での発注履歴やお届けした輸血用血液製剤情報等がシステムに保存され、ファイル抽出（CSVファイル）による閲覧が可能。



(1) 医療機関への情報提供

輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を愛知県赤十字血液センター供給管内医療機関へ配付しました。また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会を行い、情報提供しました。

お知らせ

発行年月	内 容
令和3年10月	血液製剤等に係る遡及調査ガイドラインの一部改正について
令和3年12月	輸血用血液製剤の添付文書改訂のお知らせ
令和4年1月	添付文書の製品への同梱廃止について

輸血情報

発行年月	内 容
令和3年7月	血液製剤発注システム及びメール配信サービスについて
令和3年9月	輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 -2020年-
令和3年9月	赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 -2020年-

(2) 輸血副作用の情報収集

25施設 60件

(3) 遡及調査の実施

複数回献血者の感染症マーカーの陽転化 117件 / 献血後情報 36件

(4) 輸血業務担当者連絡会の開催

開催年月日	内 容
令和3年7月31日 (オンライン開催)	「輸血安全と適正化：将来への課題」(講演) 「学術情報・供給課 供給係からの連絡事項」 「学術情報・供給課 学術係からの情報提供」
令和4年1月15日 (オンライン開催)	「輸血検査の精度管理について」(シンポジウム) 「学術情報・供給課 供給係からの連絡事項」 「学術情報・供給課 学術係からの情報提供」

(5) 医療機関での説明会の実施

- ・血液製剤の取り扱い / 輸血副作用 / 輸血過誤について 10回
- ・自己血輸血について 1回
- ・輸血感染症について 1回
- ・説明会用DVDの貸与 8件

(6) その他の活動

大学生、専門学校生への講義(輸血関連)

- ・大学(臨床検査技師・看護師・養護教諭) 2校
- ・専門学校(臨床工学士) 1校

血液内科医、小児科医への情報提供

- ・HLA適合血小板(PC-HLA) Web ミーティングの開催(岐阜県赤十字血液センター主催) 12名



骨髄バンク事業は、国(=厚生労働省)主導のもと、日本骨髄バンクが主体となり、日本赤十字社および地方自治体の協力により行われている公的事業です。日本骨髄バンクは骨髄移植・末梢血幹細胞移植のコーディネート等を行い、日本赤十字社は造血幹細胞提供支援機関として、ドナー登録及びHLA検査等を行っています。都道府県・保健所を設置する市・特別区は保健所を窓口として協力体制をとっています。



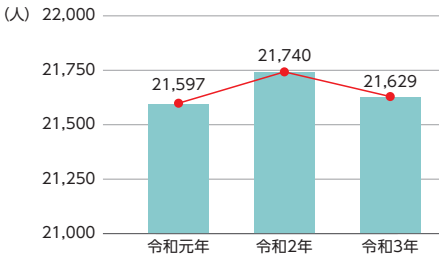
令和元年～令和3年度 骨髄バンク登録者数

令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
1,845人	1,391人	1,031人	4,267人

骨髄提供希望者登録状況

愛知県 21,629人(令和4年3月31日現在)

愛知県内の骨髄提供希望者登録状況の推移



愛知県の骨髄ドナー登録受付施設

(令和4年3月31日現在)

名 称	電話番号	受付時間
愛知県赤十字血液センター	0561-85-2037	月～土(祝日・12/29～1/3を除く) 9:00～11:00、13:30～16:00
愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所	0532-32-1331	月～土(祝日・12/29～1/3を除く) 9:00～11:00、13:30～16:00
献血ルーム タワーズ 20	052-571-1002	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
献血ルーム ゲートタワー 26	052-589-2229	年中無休(12/29～1/3を除く) 11:00～18:00
献血ルーム フォレスト	052-462-8090	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
栄献血ルーム	052-242-7030	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
大須万松寺献血ルーム	052-251-7161	年中無休(12/29～1/3を除く) 11:00～12:00、14:30～18:00
豊田献血ルーム	0565-35-4480	水～月(12/29～1/3を除く) 10:00～12:00、14:30～17:00
岡崎献血ルーム	0564-52-1800	土～木(12/29～1/3を除く) 10:00～12:00、14:30～17:00
一宮市保健所	0586-52-3855	第2・4水 9:00～10:30(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
清須保健所	052-401-2100	水 10:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
春日井保健所	0568-31-2189	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
半田保健所	0569-21-3341	水 13:00～15:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
衣浦東部保健所	0566-22-1699	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
豊川保健所	0533-85-9699	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)

ひとりでも多くの方に、献血が身近になるように

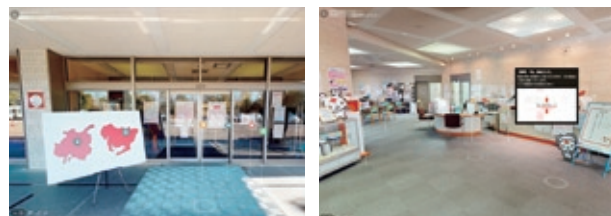
血液センターでは、広く献血にご協力いただくことと、血液事業について多くの人にご理解いただくことを目的に、さまざまな広報活動を展開しています。

広報トピックス Public Relations

360° バーチャル施設見学

モバイル端末を使って、好きな場所から献血ルームや血液センターの供給部門の内部をご覧いただけるようコンテンツを作成しました。360° 3D 映像を通じて、実際に訪問しているような感覚で見学していただけます。

献血ルームでは、待合室や採血室を自由に歩き回ったり、受付から採血までの流れが視聴できます。また、供給部門では、普段は入ることができない輸血用血液製剤の保管庫内も見ることができ



オンライン献血セミナー

新型コロナウイルス感染症の影響から対面での献血セミナーは休止しましたが、学校と血液センターをオンラインで繋ぎ献血セミナーと職場体験を実施しました。

オンライン献血セミナーでは、高校生や大学生に対し、血液の役割や献血の必要性を伝えるための講義と動画の視聴を実施しました。職場体験では、血液や献血に関する講義や血液センターでの実際の仕事について学習した後、職場体験の感想などを SNS 原稿として作成し、血液センター Facebook 公式アカウントに投稿しました。



動画でみる親子血液教室 2021

毎年、小学4～6年生を対象に愛知県との共催で「夏休み親子血液教室」を血液センターと豊橋事業所で開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。

そこで、血液の役割といのちと献血の大切さを楽しく考える内容の動画を作成し、「動画でみる 夏休み親子血液教室 2021」として、公式ホームページから配信しました。



キャンペーンイベントの開催

様々なキャンペーンイベントを開催し、広くみなさまに対して、献血の普及啓発を行っています。

愛知県学生献血連盟 Aichi-Go の学生ボランティアが中心となり、献血者が減少する時期にあわせて、毎年8月・12月・3月に「東海北陸ブロック学生サマー献血キャンペーン」、「全国学生クリスマス献血キャンペーン」、「愛知県学生スプリング献血キャンペーン」を開催し、献血のご協力を呼びかけています。

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、規模を縮小（ステージイベントの中止等）し、感染対策を徹底のうえ、実施しました。

また、毎年8月と1月に行う「官庁街献血」では、例年多くの方に献血へのご協力をいただいています。

若年層への普及活動の一環として、7～9月に「10代夏の献血キャンペーン」、1～3月に「卒業献血キャンペーン」を行っています。近年は「SNS キャンペーン」を通して公式 SNS の認知度を高め、献血に関する情報をより多くの方に発信できるよう取り組んでいます。



10代夏の献血キャンペーン



卒業献血キャンペーン



SNS つなごう献血キャンペーン



冬の官庁街献血



東海北陸ブロック学生サマー献血

複数回献血クラブ「ラブラッド」 Multiple Blood Donation Club

輸血を必要とされる患者の方々は、春夏秋冬の区別なく血液が必要となります。そのため、一年を通じて常に安全な血液を安定的に確保することが求められます。安定確保をするために、複数回にわたり献血のご協力をいただける複数回献血クラブの会員が必要です。

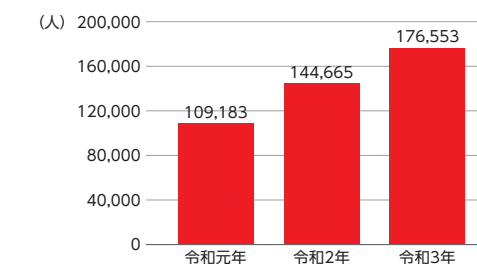
平成 30 年 10 月 29 日から献血者へのサービス向上を目的として、愛称名を「ラブラッド」としました。全国の献血ルームや献血バス（一部の会場）において Web 予約ができるほか、血液検査結果が献血後 2～5 日程度で確認できるようになりました。また、キャンペーン情報、次回献血可能日などのお知らせが届くほか、予約や献血への協力で貯めたポイントを記念品と交換することができます。さらに、会員サイト上では次回献血可能日の確認、住所等の変更も行え、献血に協力した人、献血に助けられた人の声「ラブラッドな声」をお届けしています。



愛知県の献血 Web 会員サービス「ラブラッド」登録状況 (新規)

令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
21,901 人	35,482 人	31,888 人

献血 Web 会員サービス「ラブラッド」登録状況 (累計)



複数回献血クラブ「ラブラッド」会員限定キャンペーン

複数回献血クラブ「ラブラッド」会員限定のキャンペーンを定期的に行っております。

キャンペーン実施内容

実施年月日
令和4年3月22日～4月25日
実施内容
スプリング全血献血キャンペーン



予約献血のお願い

日々必要な血液を安定的に確保するため、そして献血される方が一時期に集中することによる密を避けるため、事前のご予約をお願いしています。

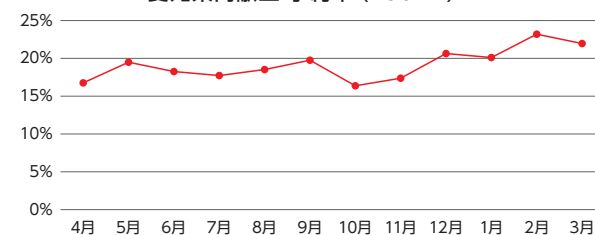
献血の予約方法

- 献血Web会員サービス「ラブラッド」でのWeb予約
- 各献血ルームへのお電話での予約

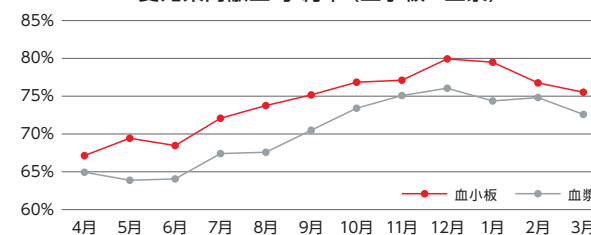
Web 上で各献血会場の時間帯別、献血種類別の予約状況が確認できる「ラブラッド」での予約がオススメです！



愛知県内献血 予約率 (400mL)



愛知県内献血 予約率 (血小板・血漿)



2 コロナ禍における対応

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。



献血会場では、検温や手指消毒の実施と事前予約を献血者にお願ひし、密を避けるようご協力をお願いしています。

実際の様子



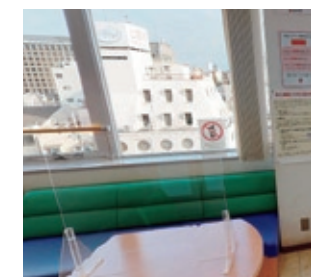
職員及び献血者は
献血会場ではマスク着用
(愛知県赤十字血液センター)



各所に消毒液を設置
(献血ルーム ゲートタワー 26)



定期的に職員が消毒を実施
(献血ルーム ゲートタワー 26)



休憩スペースにも
飛沫防止パネルを設置
(岡崎献血ルーム)

医療機関への対応

血液製剤の供給時

医療機関に入館する際は、院内の訪問ルールに従うとともに、マスクを着用し、退館時は手洗い又は手指消毒を行う。
配送業務帰着後は、手指消毒を徹底し、ハンドル等の手で触れた部分及び血液輸送容器の消毒を行う。



手指消毒の徹底



血液輸送容器の消毒

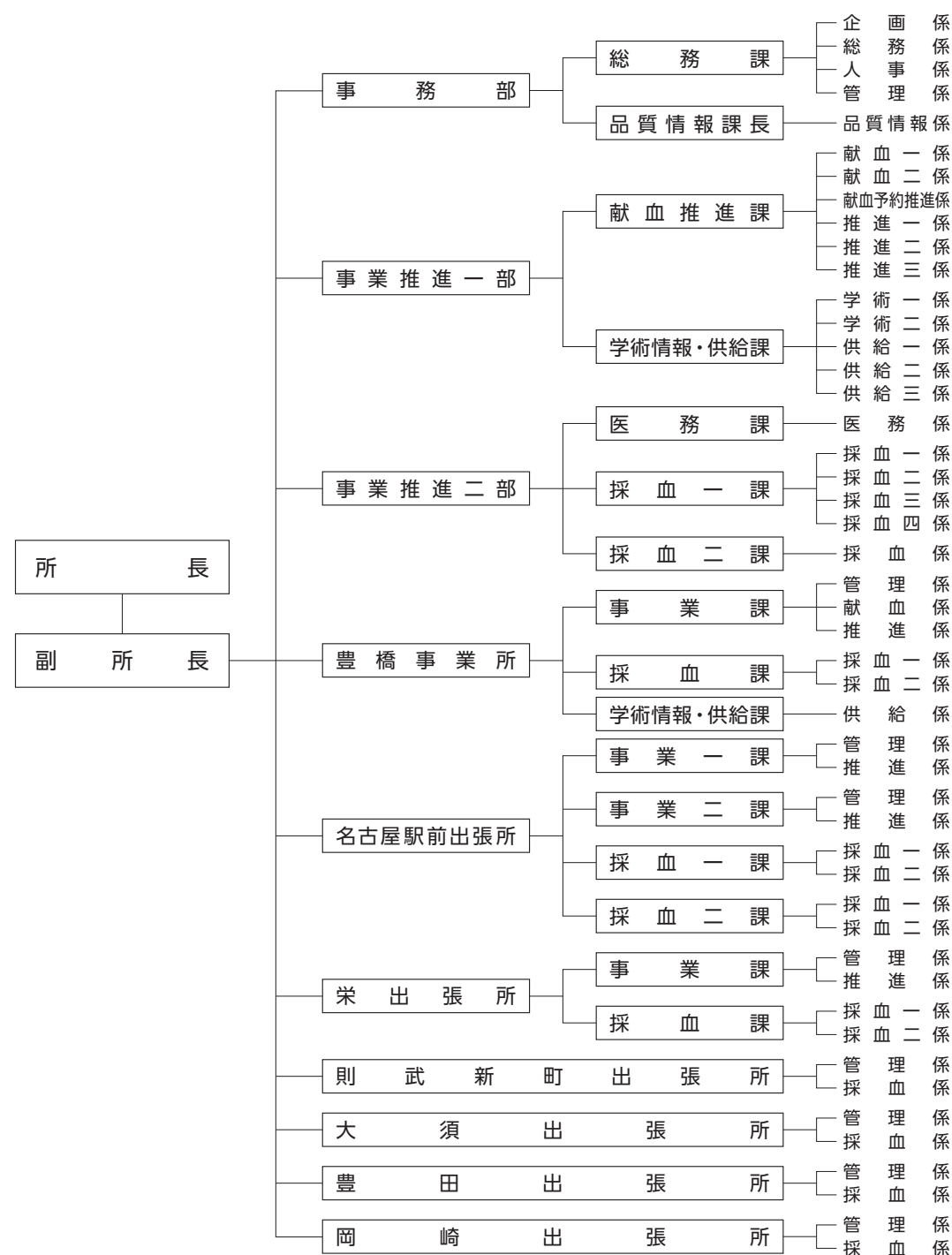
3 組織

Organization

血液事業をより円滑に推進するためには、その体制づくりが重要なポイントになります。血液事業に直接関係する体制や施設・設備を充実するとともに、それをサポートする間接部門も重要視し、組織としての総合的な力を発揮しながら血液事業の現在と将来を常に見つめています。

組織機構図 Organization Chart

(令和4年3月31日現在)



愛知県赤十字血液センター Japanese Red Cross Aichi Blood Center

施設 Facility

[所在地] 瀬戸市南山口町 539 番地 3
 [敷地面積] 63,594.57㎡
 [建物] (本館・北館) 構造／鉄筋コンクリート一部鉄骨造
 地上4階・塔屋1階
 延面積／9,783.21㎡
 [付属建物] 大型車庫、合併処理槽機械室



車両台数 Number of Vehicle

献血バス	検診車	送迎車	広報車	献血運搬車	器材運搬車等	乗用車	計
8 台	3 台	4 台	4 台	29 台	1 台	11 台	60 台

(令和4年3月31日現在)

愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所 Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch

施設 Facility

[所在地] 豊橋市東脇三丁目4番地1
 [敷地面積] 3,014.07㎡
 [建物] 構造／鉄筋コンクリート造
 地上3階・塔屋1階
 延面積／1,694.00㎡
 [付属建物] 車庫

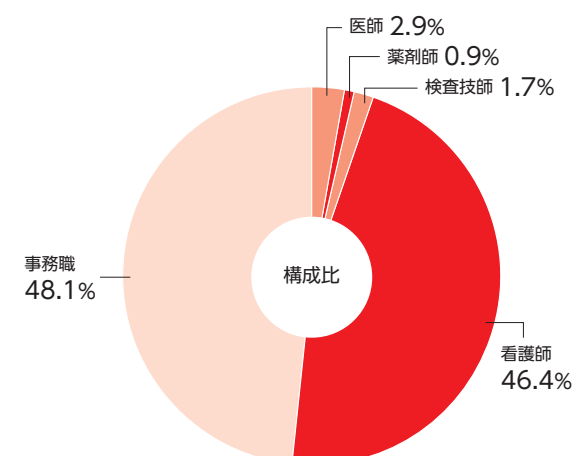


車両台数 Number of Vehicle

献血バス	検診車	送迎車	献血運搬車	乗用車	計
3 台	1 台	0 台	5 台	3 台	12 台

(令和4年3月31日現在)

愛知県赤十字血液センター職員数 Number of Staff



職種	人員	構成
医師	10 人	2.9 %
薬剤師	3 人	0.9 %
検査技師	6 人	1.7 %
看護師	161 人	46.4 %
事務職	167 人	48.1 %
計	347 人	100 %

* パートタイマー含む

時代の変化とともに、血液事業も変化しています。

献血協力や医療機関のニーズに対応した活動を展開し、新しい歴史を積み重ねています。

新たな歴史を積み重ねて着実な歩み続ける

昭和 37 年の開設以来、輸血を必要とする患者さんのため時代とともに、着実な歩みを続けています。

沿革 History

	愛知の動き	全国の動き
1960	昭和 37 年 10 月 名古屋第一赤十字病院内に愛知県赤十字血液銀行を開設	昭和 27 年 4 月 日本赤十字社血液銀行東京業務所開設
	昭和 39 年 12 月 愛知県赤十字血液センターと名称を改める	昭和 31 年 6 月 「採血及び供血あっせん業取締法」公布
	昭和 41 年 6 月 採血出張所を開設（豊橋・岡崎・一宮・半田・瀬戸）	昭和 35 年 8 月 「薬事法」公布
	昭和 43 年 1 月 東海北陸 7 県（富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・愛知県・三重県）の調整センターとして保存血液の需給調整を開始	昭和 39 年 8 月 「献血の推進について」閣議決定
	昭和 43 年 11 月 豊橋採血出張所を廃止し、愛知県赤十字血液センターの支所として新社屋を建設（豊橋市橋良町）、愛知県豊橋赤十字血液センターを開設、業務開始	昭和 44 年 民間商業血液銀行の買血による輸血用血液の供給中止
	昭和 44 年 8 月 愛知県 Rh（－）友の会を結成	
1970	昭和 45 年 4 月 血液低比重者の諸検査開始	
	昭和 46 年 3 月 日赤愛知県支部との合同庁舎（名古屋市中区三の丸）に移転、業務開始	
	昭和 46 年 4 月 支所として運営されてきた愛知県豊橋赤十字血液センターが豊橋赤十字血液センターとして独立	
	昭和 47 年 3 月 県内の預血業務が全廃され献血一本化となる	
	昭和 48 年 4 月 名古屋市内及び尾張部について輸血用血液の直配開始	
	昭和 49 年 4 月 血液代金自己負担金給付制度実施	昭和 49 年 民間商業血液銀行が預血制度廃止（献血 100%体制確立）
	昭和 52 年 4 月 一宮出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める	昭和 50 年 日本民間放送連盟主催「第 1 回はたちの献血」キャンペーン開始
	昭和 54 年 4 月 採血が瓶採血からビニールバック採血に切り替わる	
	昭和 54 年 11 月 開設以来、献血者 150 万人達成	
1980	昭和 57 年 2 月 分室を中区丸の内三丁目 5 番地 10 号（住友商事丸ノ内ビル 9 階）に新設	
	昭和 57 年 4 月 全国一斉に献血手帳の様式一部改正（供給欄削除） 献血者全員に血液型及び生化学検査結果の通知を開始	
	昭和 57 年 6 月 半田出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める	
	昭和 59 年 4 月 東海北陸 7 県（富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県）の基幹センターとして輸血用血液の需給調整及び技術指導開始	昭和 58 年 6 月 日本赤十字社血漿分画事業開始

	愛知の動き	全国の動き
1980	昭和 61 年 3 月 事務所棟増築完成（豊橋赤十字血液センター）	
	昭和 61 年 4 月 名古屋市中区錦三丁目 22 番 14 号（マルニシビル 5 階）に栄出張所（献血ルーム）を開設	
		愛知県学生献血連盟発足
	昭和 61 年 10 月 東三河地域に血小板等の特殊血液のみ直配実施	昭和 61 年 4 月 「採血及び供血あっせん業取締法」一部改正に伴う新採血基準採用（400mL、成分採血導入）
	昭和 62 年 1 月 名古屋市熱田区一番に白鳥出張所（献血車基地）を開設	昭和 61 年 HIV 抗体検査及び HTLV- I 抗体検査を開始
	昭和 62 年 3 月 瀬戸市南山口町に社屋新築移転、業務開始（愛知県赤十字血液センター）	
	昭和 62 年 4 月 名古屋市中区三の丸旧社屋に三の丸出張所（献血ルーム）を開設	
	昭和 62 年 8 月 西三河部への輸血用血液の直配開始	
	昭和 62 年 9 月 第 11 回日本血液事業学会総会を愛知県勤労会館で開催	
	昭和 63 年 7 月 輸血用血液の全面直配開始（豊橋赤十字血液センター）	
	昭和 63 年 10 月 名古屋市千種区星が丘元町 1502 番地（第一星ヶ丘ビル 2 階）に星ヶ丘出張所（献血ルーム）を開設	平成 元 年 HBc 抗体、HCV 抗体検査開始
	平成 元 年 1 月 愛知県内の献血者延 500 万人達成	
1990	平成 2 年 3 月 豊橋市東脇に社屋新築移転、業務開始（豊橋赤十字血液センター）	平成 2 年 民間製薬会社による有償採漿中止
	平成 2 年 6 月 名古屋市中区栄三丁目 15 番地 33 号（栄ガスビル 9 階）に栄出張所（献血ルーム）を移転開設	
	平成 3 年 3 月 岡崎市康生通西 2 丁目 20 番地（シビコ 5 階）に岡崎出張所（献血ルーム）を開設	
	平成 3 年 12 月 血液センター組織に地方骨髓データセンター設置	
	平成 4 年 6 月 名古屋市中村区名駅四丁目 26 番地 7 号（名駅 U F ビル 5 階）に名古屋駅前出張所（献血ルーム）を開設	平成 4 年 1 月 赤血球 M・A・P「日赤」の製造承認許可
	平成 4 年 11 月 赤血球 M・A・P「日赤」の調整供給開始（愛知県赤十字血液センター）	
	平成 5 年 4 月 赤血球 M・A・P「日赤」の調整供給開始（豊橋赤十字血液センター）	平成 5 年 8 月 「自己血輸血協力要綱」作成
	平成 5 年 10 月 三の丸出張所を名古屋市東区白壁一丁目 50 番地（愛知県白壁庁舎内）に白壁出張所（献血ルーム）として移転開設	
	平成 6 年 1 月 自己血輸血協力開始	
	平成 6 年 3 月 愛知県内血液センター需給計画委員会設置	
	平成 6 年 4 月 輸血用血液への放射線照射協力開始（愛知県赤十字血液センター）	
	平成 6 年 9 月 輸血用血液への放射線照射協力開始（豊橋赤十字血液センター）	
	平成 7 年 3 月 第 43 回日本輸血学会総会を名古屋国際会議場で開催	平成 7 年 4 月 献血表彰制度の一部改正と献血換算回数変更
	平成 8 年 10 月 白壁出張所の検査部門を愛知県赤十字血液センターに集約	平成 7 年 7 月 統一した献血申込書及び問診票導入
	平成 9 年 4 月 東海北陸 8 県（富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）の基幹センターとして、輸血用血液の需給調整及び技術指導開始 豊田市若宮町一丁目 57 番地 1（A 館 T-FACE 9 階）に豊田出張所（献血ルーム）を開設	
	平成 9 年 7 月 白壁出張所の供給部門を愛知県赤十字血液センターに集約	平成 10 年 6 月 放射線照射輸血用血液が国に認可され供給開始
	平成 9 年 10 月 白壁出張所の製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約	

愛知の動き			全国の動き		
1990	平成11年 4月	県内血液センター一体運営開始。これに伴い、豊橋赤十字血液センターを愛知県豊橋赤十字血液センターに改称し、検査業務を愛知センターに集約 刈谷市南桜町一丁目73番地(OTAビル4階)に刈谷出張所(献血ルーム)を開設	平成11年 4月	血小板成分献血を除き、献血年齢の上限が満64歳から満69歳に引上げ	
	平成11年 8月	名古屋市熱田区金山町1-202(東和ビル「メガネプラザビル」7階)に金山出張所(献血ルーム)を開設	平成11年 5月	献血者情報の全国一元管理システムが稼働	
	平成11年 11月	愛知県赤十字血液センター北館完成	平成11年10月	HTLV-I抗体検査結果が異常な場合、希望者への通知を開始。これに伴い献血申込書の内容一部変更 核酸増幅検査(NAT)実施の輸血用血液を供給開始	
	平成12年 3月	愛知県赤十字血液センター本館増改築工事完成	平成14年 4月	HCV抗体陽性者への通知基準の変更	
2000	平成13年 2月	名古屋市市中村区名駅三丁目28番地12号(大名古屋ビルヂング3階)に名古屋駅前出張所(大名古屋ビル献血ルーム)を移転開設	平成14年 7月	薬事法及び採血及び供血あつせん業取締法の一部を改正する法律の公布 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)公布	
	平成13年 9月	第25回日本血液事業学会総会を名古屋国際会議場で開催	平成14年 8月	有償採血の禁止	
	平成15年 2月	愛知県内の献血者延1,000万人達成	平成15年 7月	「薬事法」の一部改正及び「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)施行	
	平成15年 3月	星ヶ丘出張所(献血ルーム)閉所			
	平成15年 5月	岡崎市明大寺町字寺東1-1(名鉄東岡崎駅南館5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を移転開設	平成16年 1月	安全対策に対する日本赤十字社の取組み(8項目)	
	平成16年 6月	第二次全国統一システム稼働	平成16年10月	献血受付時の本人確認実施開始	
	平成17年 1月	新鮮凍結血漿貯留保管用冷凍室完成	平成17年 4月	改正薬事法施行	
	平成17年 6月	愛知県赤十字血液センター献血推進本部設置	平成17年 6月	問診による欧州渡航歴の献血制限開始	
	平成17年10月	白鳥出張所(献血バス基地)を閉所し、愛知県赤十字血液センターに移動採血部門を集約 愛知県豊橋赤十字血液センターの製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約	平成17年 7月	6カ月以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」(FFP)の供給開始	
	平成18年 3月	複数回献血クラブ「四季桜の会」の設立	平成18年 3月	タッチパネル方式による問診回答方式の導入	
	平成18年 9月	白壁出張所(献血ルーム)の閉所		成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始	
	平成18年10月	名古屋市中区大須三丁目30-40(大須万松寺ビル1階)に大須出張所(献血ルーム)を開設 岐阜県赤十字血液センターとの検査業務集約 成分採血(血小板)の初流血除去開始	平成18年 8月	人免疫グロブリン製剤「日赤ポリグロビン」販売開始	
	平成19年 2月	全血採血の初流血除去開始 静岡県赤十字血液センターとの検査業務集約	平成18年 9月	成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤出庫開始	
	平成19年 5月	三重県赤十字血液センターとの検査業務集約	平成18年10月	献血手帳の磁気カード化開始	
	平成20年 1月	成分採血(血漿)の初流血除去開始	平成19年 1月	全血採血由来保存前白血球除去製剤製造開始	
	平成20年 6月	岐阜県赤十字血液センターとの製剤業務集約	平成19年11月	血小板製剤の有効期間(採血後4日間)変更	
	平成20年 8月	製剤ラベルの変更	平成20年 7月	初流血除去を実施した成分採血由来製剤新鮮凍結血漿「日赤」(FFP-5)の供給開始	
	平成21年 4月	三重県赤十字血液センターとの製剤業務集約	平成21年 3月	糖尿病関連の検査(グリコアルブミン検査)開始	
	平成21年11月	第33回日本血液事業学会総会(第20回国際輸血学会アジア部会併設)を名古屋国際会議場で開催	平成21年10月	血漿分画製剤の販売名、包装表示等の変更	
2010	平成22年 5月	第58回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋国際会議場で開催	平成22年 1月	英国滞在歴に関する献血制限の緩和	
			平成22年 2月	販売名変更代替新規承認品目 濃厚血小板-LR「日赤」・濃厚血小板HLA-LR「日赤」・照射濃厚血小板-LR「日赤」・照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」の製造・供給開始 血液型、生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充	
	平成23年10月	JRセントラルタワーズ20階に名古屋駅前出張所を移転開設	平成22年12月		
	平成23年11月	愛知県赤十字血液センター製造棟完成	平成23年 4月	採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ)	

愛知の動き			全国の動き		
2010	平成24年 3月	静岡県赤十字血液センターとの製剤業務集約	平成26年 6月	血液事業情報システム導入	
	平成24年 4月	広域事業運営体制開始 製造棟施設が東海北陸ブロック血液センターとして業務開始 愛知県豊橋赤十字血液センターを愛知県赤十字血液センター豊橋出張所に改める	平成26年 8月	特殊製剤国内自給向上対策事業の実施 個別核酸増幅検査(NAT)の導入 日本赤十字社による血漿分画製剤の販売終了	
	平成25年 4月	県境を越える供給エリアの変更開始(岐阜県東濃地域↔愛知県西尾張地域)	平成27年 3月	ALT検査による製品除外基準の変更	
	平成26年 4月	豊橋出張所を豊橋事業所に改める	平成28年 4月	照射洗浄血小板-LR「日赤」・照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」の供給開始	
	平成26年 7月	第50回献血運動推進全国大会を愛知芸術文化センターで開催	平成28年 9月		
	平成29年 4月	金山出張所と刈谷出張所の閉所 JRゲートタワー26階に名古屋駅前出張所を拡張	平成30年 9月	新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長	
			平成30年10月	複数回献血クラブの会員サイトを一新し、愛称を「ラブラッド」に統一して運用開始	
2020	令和 2年 8月	愛知県内の献血者延1,500万人達成	令和 2年 4月	新型コロナウイルス感染拡大を受けて、全国に緊急事態宣言が発出される。「緊急事態宣言下でも献血は必要です」として継続した献血を呼びかけ	
			令和 2年 8月	全国一斉にE型肝炎検査(HEV NAT)を導入	
			令和 2年 9月	血液法改正に伴い健康診断及び問診の方法が定められ、健康診断基準として血圧、脈拍、体温の基準が示される 全血採血の採血前検査方法を指先穿刺に変更 ※献血ルームは順次	
			令和 2年11月	献血者顕彰規程を改正し、記念品贈呈を行う献血回数や記念品の選択制を導入 問診における癌の問診判断基準を緩和し、がん薬物療法、放射線療法、がん免疫療法等の治療を受けていても、治療終了後、再発なく5年経過すれば献血可となる	
			令和 3年 5月	新型コロナウイルスのmRNAワクチンを含むRNAワクチンを接種された方は、接種後48時間経過していれば献血可とされた。 ※RNAワクチン以外のワクチン接種後の受入基準は、国において継続して検討中(令和3年12月末時点)	
	令和 3年 9月		令和 3年 9月	新型コロナウイルス感染症の既往者(または検査陽性者)は、症状消失後(無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から)4週間が経過し、回復後に治療や通院を要する後遺症がなく、問診等により全身状態が良好であることが確認できれば献血可とされた	
	令和 3年10月	名古屋市西区則武新町3-1-17(イオンモール Nagoya Noritake Garden 3階)に則武新町出張所(献血ルーム)を開設	令和 3年11月	国民の健康増進に有益な情報として還元することを目的として、2016年以降に採血された献血者に関する血液検査値の集計を行い、ホームページにおいて情報公開を開始	

血液事業に多くの功績があった個人・団体を表彰

毎年献血に多大なご協力をいただいたみなさまに感謝の気持ちを込めて表彰を行っています。

令和３年度も多くの個人・団体のみなさまにご協力をいただき、功労表彰を授与させていただきました。

献血事業は、こうした多くの方々に支えられています。

献血功労表彰 Recognition

厚生労働大臣表彰状
5 団体
株式会社FUII
名古屋緑ライオンズクラブ
西尾市役所職員献血会
三ツ星ベルト株式会社名古屋工場
株式会社UACJ 名古屋製造所

厚生労働大臣感謝状
12 団体

愛知県春日井警察署
熱田神宮
海部南部消防組合
イオンリテール株式会社 イオン三好店 アイ・モール
春日井ライオンズクラブ
株式会社 ウツノ
株式会社 槌屋 知立工場
蒲郡信用金庫
公益社団法人日本海員救済会 名古屋救済会病院
社会福祉法人 豊橋市福祉事業会
名古屋港管理組合 職員労働組合
ユニー株式会社 アピタ向山店

愛知県知事感謝状
300 回献血者 44 名
献血協力団体 12 団体
愛知医科大学
AGU ボランティアセンター
学校法人セムイ学園
東海医療科学専門学校
株式会社シイエム・シイ
株式会社タチ製作所

信用組合愛知商銀
名古屋市北環境事業所
名古屋市西環境事業所
名古屋市名東区役所
名古屋市名東消防署
ニチバン株式会社 テープ安城工場
日本空調システム株式会社

献血功労団体	3 団体
イオンタウン株式会社	イオンタウン刈谷
公益社団法人 熱田法人会	有松支部
ユニー株式会社	
エアポートウォーク名古屋	

日本赤十字社表彰
日本赤十字社社長感謝状 (30 年以上) 32 団体

愛西ライオンズクラブ
愛知県一宮警察署
愛知県稲沢警察署
愛知県医薬品配置協議会 東三河支部
愛知県サウナ・スパ協会
愛知県瀬戸警察署
愛知県西枇杷島警察署
愛知県守山警察署
愛知東農業協同組合
安城市職員互助会
一宮市職員互助会
尾張中央農業協同組合
学校法人 名鉄学園 名鉄自動車専門学校
蟹江ライオンズクラブ
株式会社鴻池組 名古屋支店
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 名古屋オフィス
小牧ライオンズクラブ
財務省 東海財務局

社会保険診療報酬支払基金愛知支部
瀬戸ライオンズクラブ
大和化成工業株式会社
中部電力労働組合 本店・火力総支部 渥美火力支部
中部電力労働組合 名古屋総支部 中村営業所支部
津島市職員互助会
豊田ライオンズクラブ
豊田東名ライオンズクラブ
豊田南ライオンズクラブ
名古屋樟ライオンズクラブ
フタバ産業株式会社 緑工場
マスプロ電工株式会社
名城大学 体育会
ユニー株式会社 ピアゴ大治店

金色有功章 (献血 100 回以上) 362 人
金色有功章 (20 年以上) 20 団体

愛知県北警察署
愛知県天白警察署
愛知県中村警察署
愛知県西警察署
愛知県瑞穂警察署
愛知県緑警察署
愛知江南学園 誠信高等学校
医療法人社団喜峰会
エヌティーツール株式会社
株式会社アイシン 田原工場
セキスイハイム工業株式会社 中部事業所
東洋製罐株式会社 豊橋工場
豊田合成株式会社 北島技術センター
中日本高速道路株式会社
名古屋保全・サービスセンター
日本郵政グループ労働組合 名古屋貯金支部

富士特殊紙業株式会社
岡崎市赤十字奉仕団
刈谷ライオンズクラブ
名古屋千種ライオンズクラブ
ユニー株式会社 ピアゴ布袋店

銀色有功章 (献血 70 回以上) 557 人
銀色有功章 (15 年以上) 16 団体

アイシン高丘株式会社 吉良工場
愛知県東警察署
一宮市指定水道工事店協同組合 青年部
医療法人 宝美会
株式会社中央製作所
株式会社中医医薬品
TGロジスティクス株式会社
富士通株式会社
ホーユー株式会社 生産・物流本部
リコージャパン株式会社 愛知支社
イオンモール株式会社 イオンモール東浦
イオンモール株式会社 イオンモール扶桑
株式会社バローホールディングス Vタウン大口店

株式会社三河屋 ビッグリブ小牧店
吉良ライオンズクラブ
中日新聞緑支部青年会

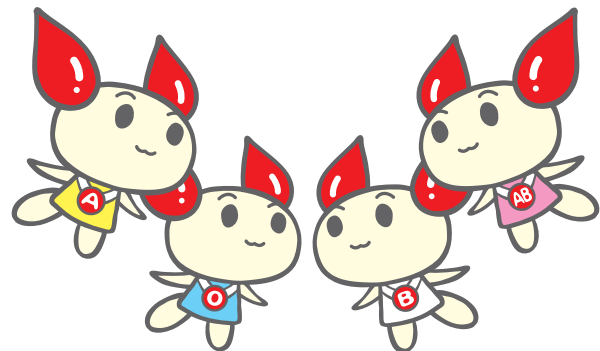
支部長感謝状 (金枠 10 年以上) 18 団体

愛知西農業協同組合
一宮土木協同組合
医療法人香流会 紘仁病院
株式会社アイシン 蒲郡工場
株式会社スガテック 名古屋支店
サトープレス工業株式会社
住友林業安全協力施工店会
大和ハウス工業株式会社 岡崎支社
中部遊技機商業協同組合
豊田合成株式会社 瀬戸工場
豊田合成株式会社 美和技術センター
名古屋中学校・高等学校
BX紅雲株式会社
リコージャパン株式会社 三河事業所
株式会社ヤマナカ アルテ新舞子
特定非営利活動法人 ボラみみより情報局 献血チーム

ユニー株式会社 アピタ蒲郡店
ユニー株式会社 アピタ名古屋南店

支部長感謝状 (銀枠 5 年以上) 16 団体

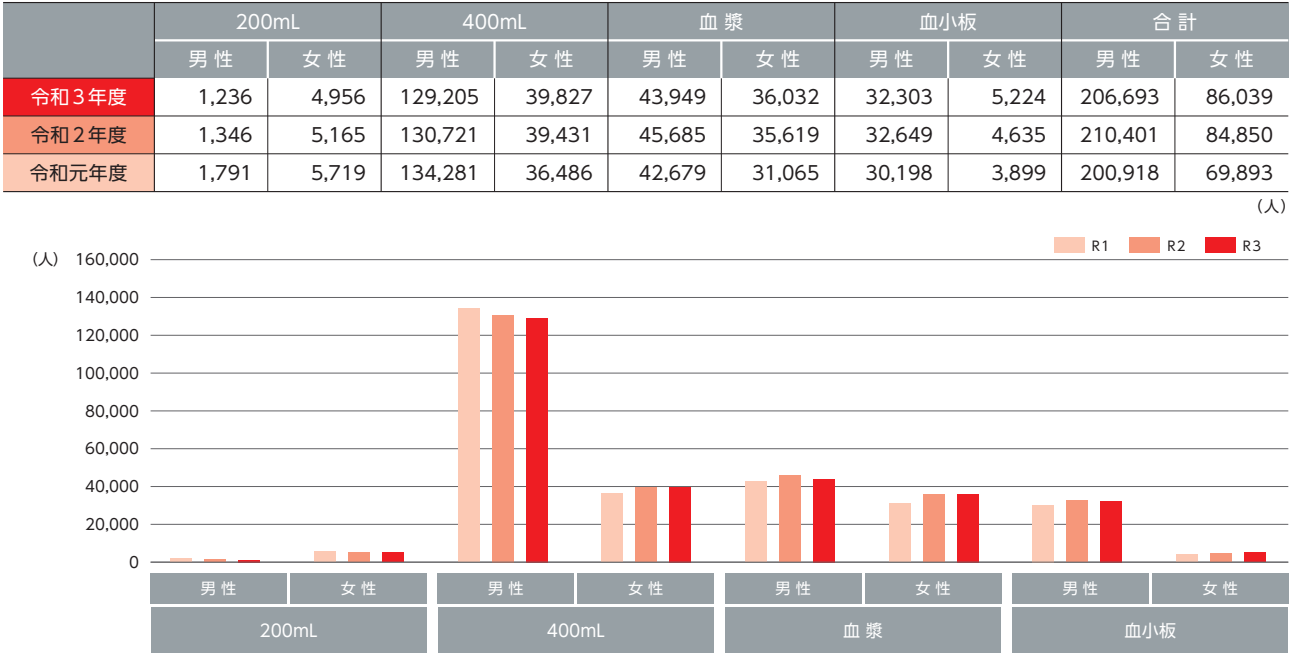
愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院
愛知県立時習館高等学校
イオ信用組合
一般社団法人 愛知県損害保険代理業協会
伊藤光学工業株式会社
NDS株式会社 豊橋支店
学校法人日本教育財団 名古屋医専
株式会社ジェーシービー 東海支社
コニックス株式会社
スギ製菓株式会社
名古屋市千種環境事業所
名古屋市名東環境事業所
西知多医療厚生組合 職員互助会
三菱重工サーマルシステムズ株式会社
愛知さくらライオンズクラブ
株式会社フィールコーポレーション フィール有松ジャンボリー
(順不同・敬称略)



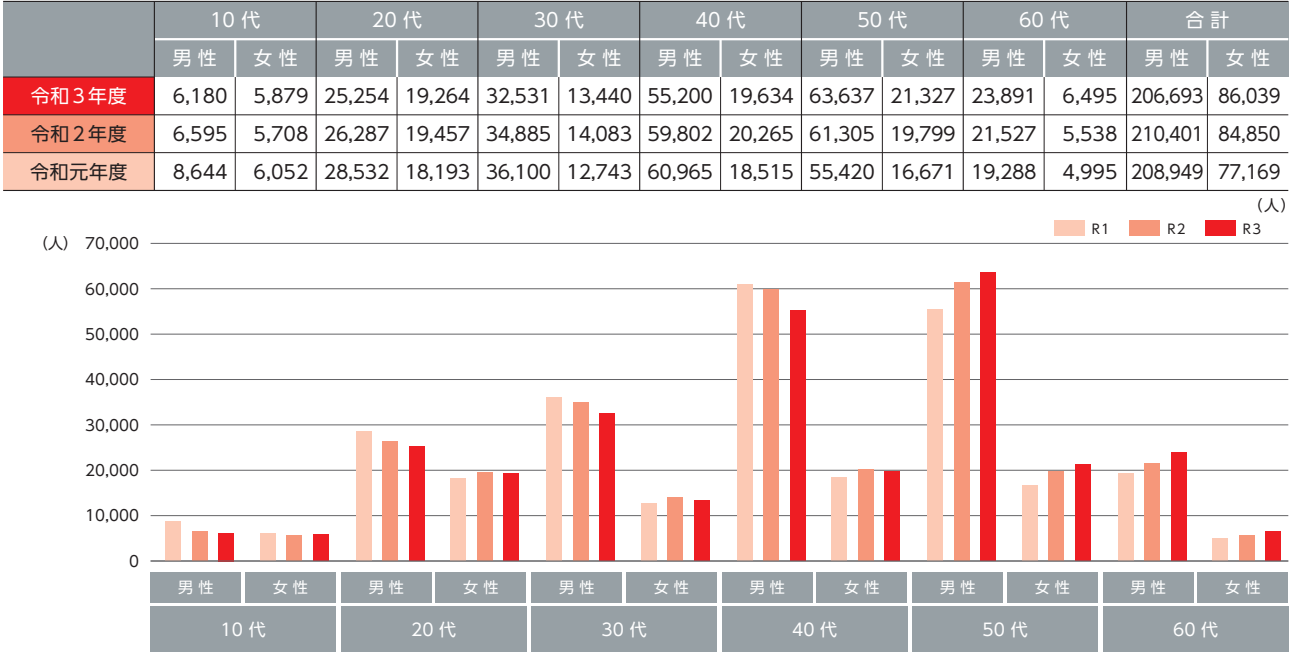
5 統計資料

Statistical Data

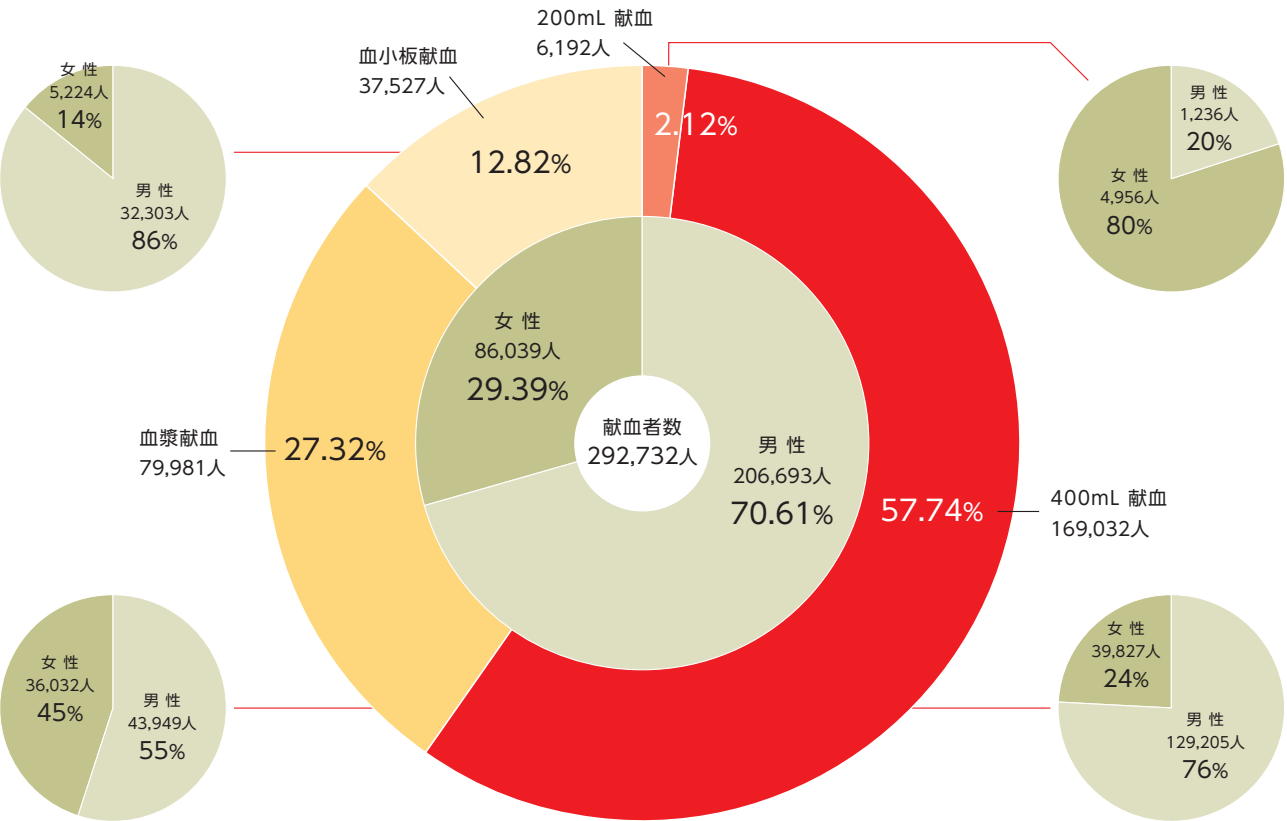
献血種別の推移 Blood Donation Type of Transition



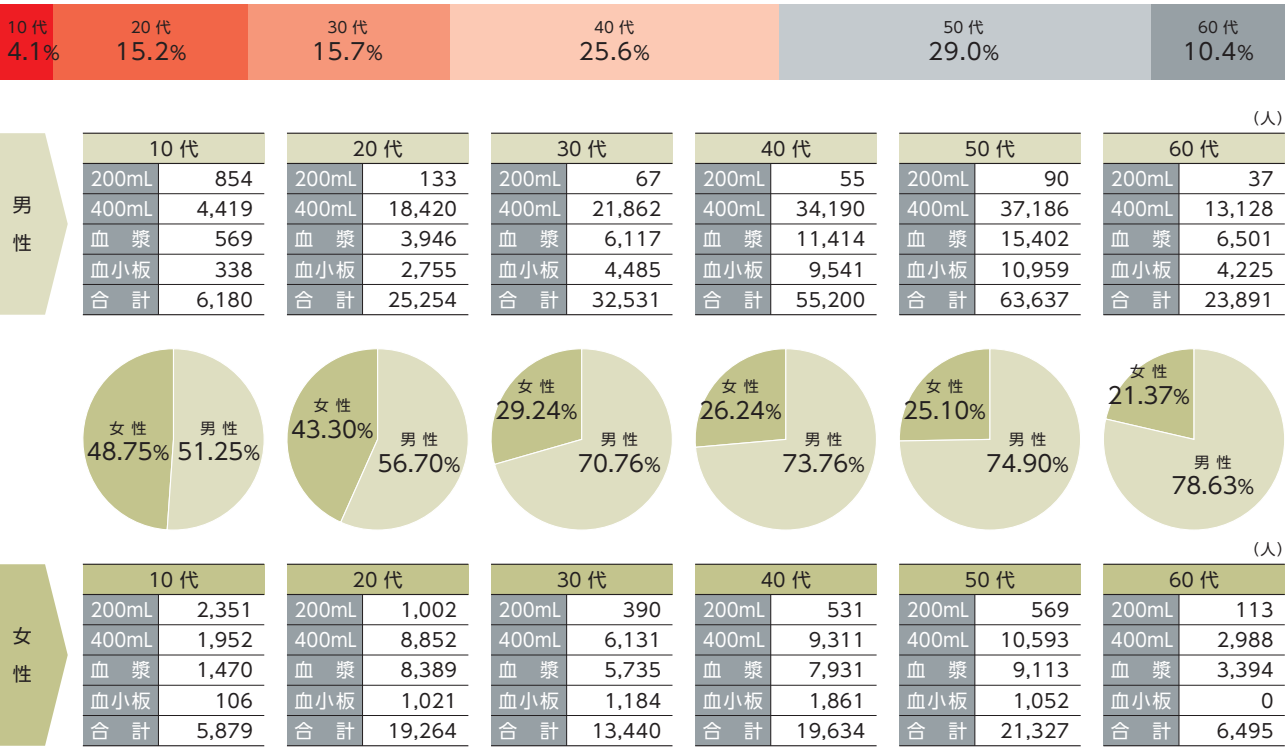
性別及び年代別 Transition by Age



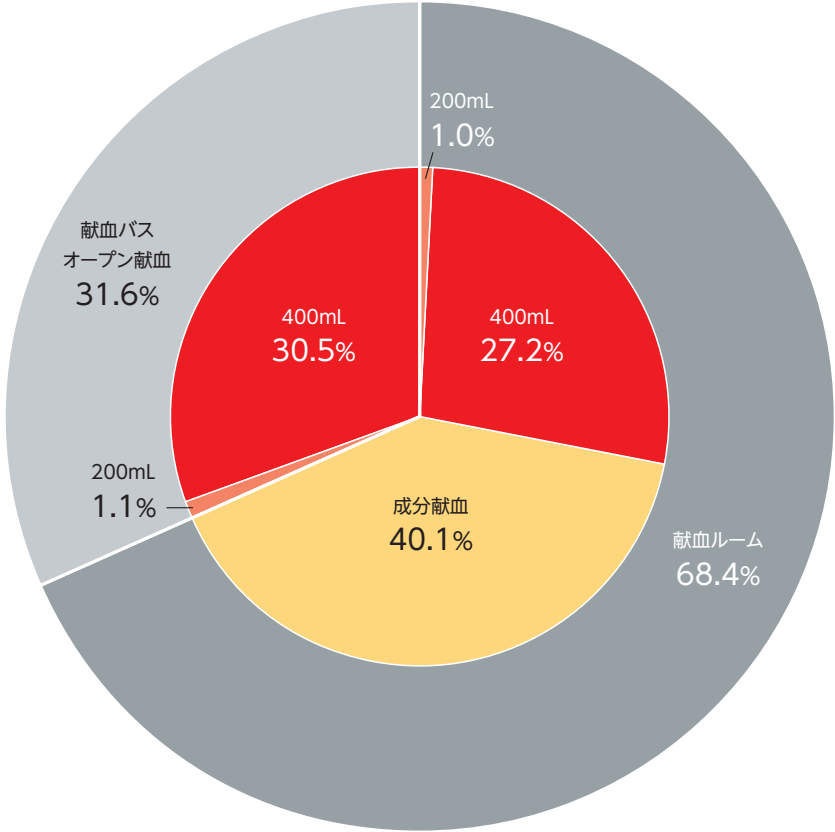
献血種別献血者数 Blood Donation Type Number of Blood Donors



年代別献血者数 Donations by Age Group



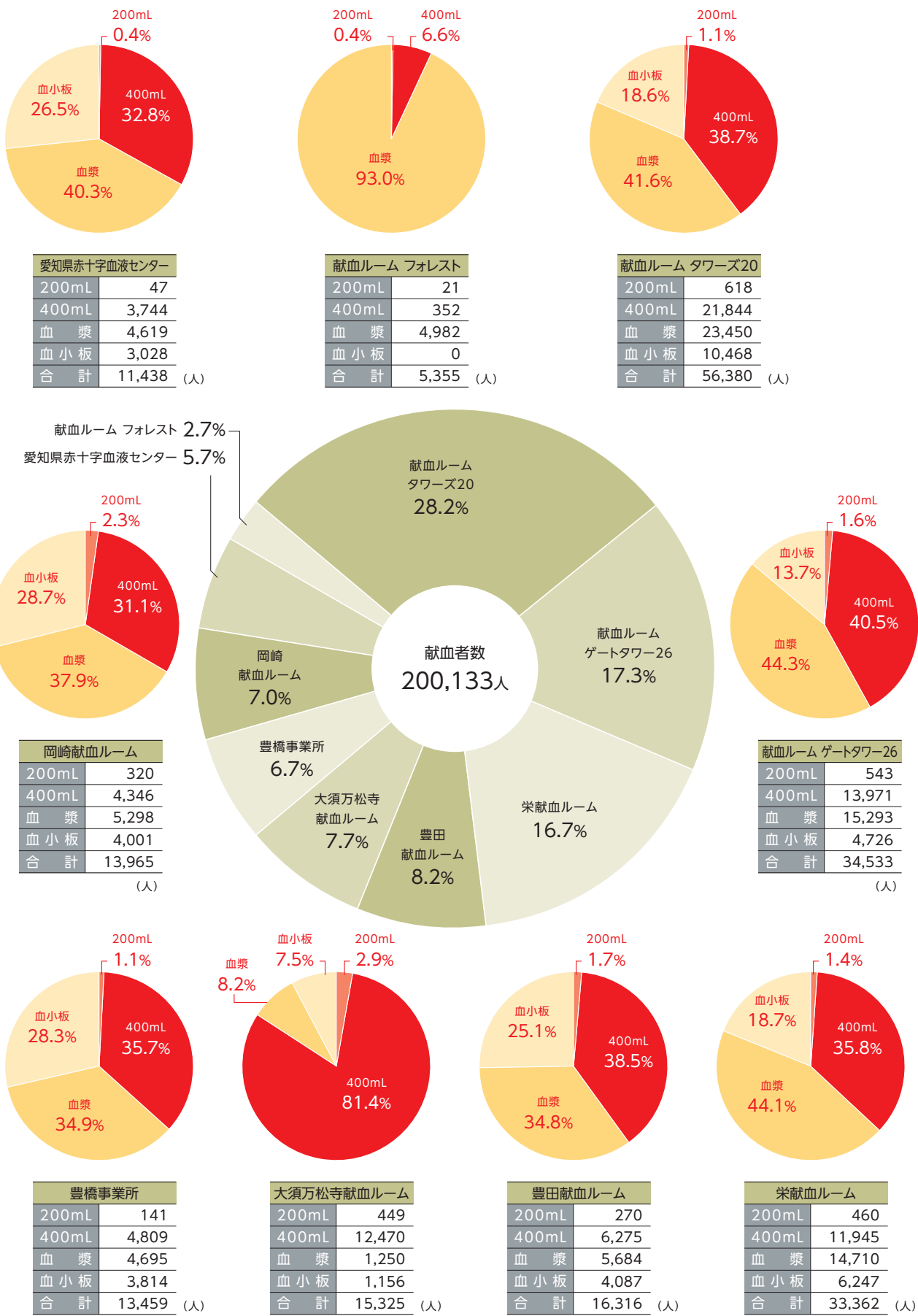
献血ルーム&献血バス・オープン献血の割合 Blood Donation Room & Bloodmobile Open Blood Donation Percentage



施設別採血種別献血者数の推移 Changes in the Number of Blood Donors by Site

		愛知県赤十字血液センター	豊橋事業所	献血ルーム タワーズ20	献血ルーム ゲートタワー26	栄献血ルーム	献血ルーム フォレスト	大須万松寺 献血ルーム	豊田 献血ルーム	岡崎 献血ルーム	移動 献血バス+オープン
200mL	令和3年度	47	141	618	543	460	21	449	270	320	3,323
	令和2年度	77	197	688	472	614		482	243	178	3,560
	令和元年度	59	103	654	395	600		508	321	132	4,738
400mL	令和3年度	3,744	4,809	21,844	13,971	11,945	352	12,470	6,275	4,346	89,276
	令和2年度	3,798	5,538	21,578	12,894	11,673		13,416	5,992	4,427	90,836
	令和元年度	2,916	3,701	22,777	12,285	11,340		13,823	5,362	3,460	95,103
血漿	令和3年度	4,619	4,695	23,450	15,293	14,710	4,982	1,250	5,684	5,298	0
	令和2年度	5,570	5,482	24,138	16,609	15,767		1,566	6,359	5,813	0
	令和元年度	3,979	3,863	23,594	14,474	14,860		1,596	5,873	5,505	0
血小板	令和3年度	3,028	3,814	10,468	4,726	6,247	0	1,156	4,087	4,001	0
	令和2年度	2,746	4,058	9,862	5,153	6,293		862	4,028	4,282	0
	令和元年度	2,332	3,631	9,870	4,131	5,927		697	3,899	3,610	0
合計	令和3年度	11,438	13,459	56,380	34,533	33,362	5,355	15,325	16,316	13,965	92,599
	令和2年度	12,191	15,275	56,266	35,128	34,347		16,326	16,622	14,700	94,396
	令和元年度	9,286	11,298	56,895	31,285	32,727		16,624	15,455	12,707	99,841

献血ルーム別献血者数 Number of Blood Donors by Blood Donation Rooms

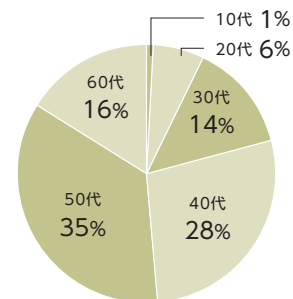


(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

献血ルーム別年代別献血者数 Number of Blood Donors by Age

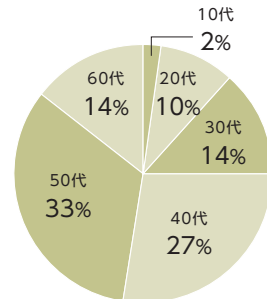
愛知県赤十字血液センター			
10代	120	40代	3,183
20代	709	50代	4,043
30代	1,565	60代	1,818
合計	11,438		

(人)



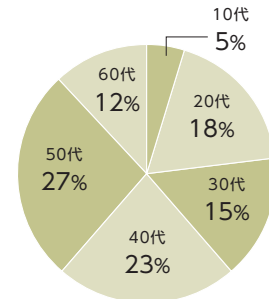
豊橋事業所			
10代	309	40代	3,691
20代	1,270	50代	4,438
30代	1,817	60代	1,934
合計	13,459		

(人)



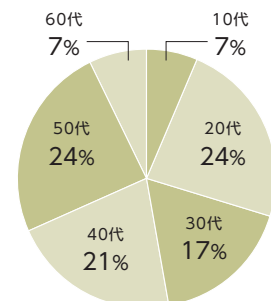
献血ルーム タワーズ20			
10代	2,797	40代	12,829
20代	10,338	50代	15,152
30代	8,673	60代	6,591
合計	56,380		

(人)



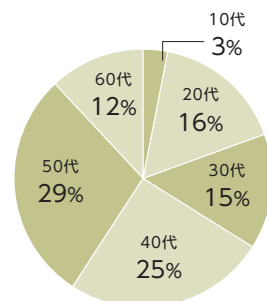
献血ルーム ゲートタワー26			
10代	2,244	40代	7,352
20代	8,111	50代	8,409
30代	5,976	60代	2,441
合計	34,533		

(人)



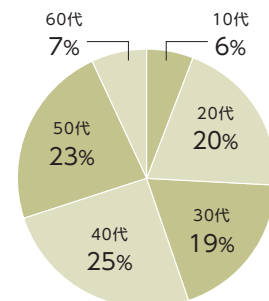
栄献血ルーム			
10代	1,076	40代	8,392
20代	5,424	50代	9,666
30代	4,856	60代	3,948
合計	33,362		

(人)



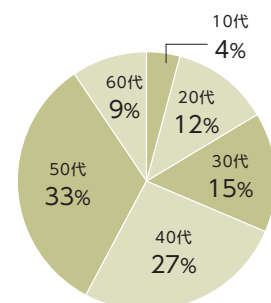
大須万松寺献血ルーム			
10代	894	40代	3,870
20代	3,100	50代	3,530
30代	2,886	60代	1,045
合計	15,325		

(人)



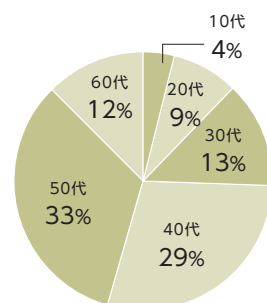
豊田献血ルーム			
10代	695	40代	4,320
20代	2,008	50代	5,353
30代	2,440	60代	1,500
合計	16,316		

(人)



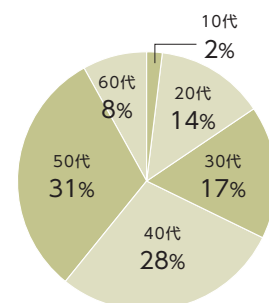
岡崎献血ルーム			
10代	550	40代	4,045
20代	1,175	50代	4,639
30代	1,848	60代	1,708
合計	13,965		

(人)



献血ルーム フォレスト			
10代	117	40代	1,525
20代	723	50代	1,662
30代	897	60代	431
合計	5,355		

(人)

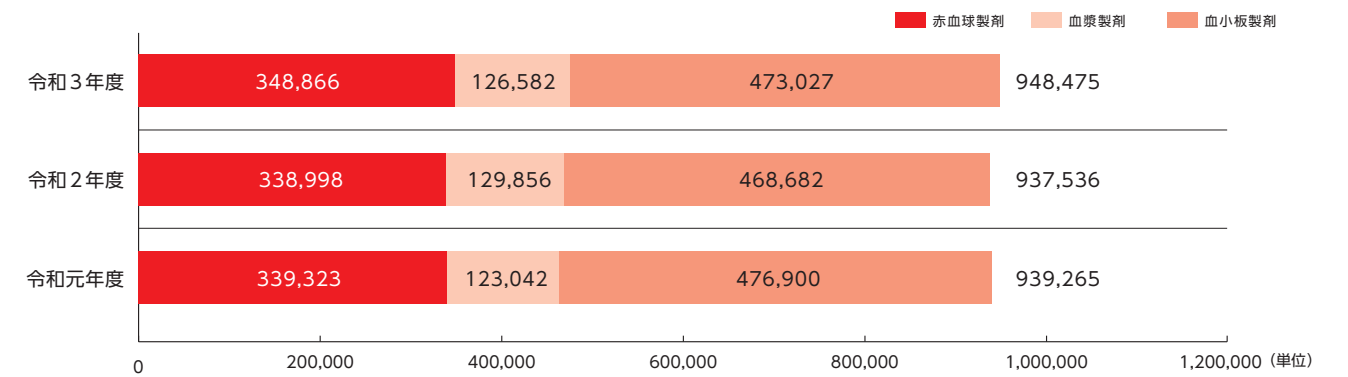


供給状況 Number of Distribution of Blood Products

供給単位の推移 (愛知県)

	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
令和3年度	348,866	126,582	473,027	948,475
令和2年度	338,998	129,856	468,682	937,536
令和元年度	339,323	123,042	476,900	939,265

(単位)



Business Overview

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER

[発行所]

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 愛知県瀬戸市南山口町539-3 TEL 0561-84-1131

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER

539-3 Minamiyamaguchi-cho Seto, AICHI JAPAN zip489-8555

<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>



環境にやさしい用紙と
植物油インキを使用しています。

令和4年9月30日発行